

害獣捕獲檻奮闘記

最初はネットを張って、唐辛子、山火事の煙の臭いのするタール、アメリカの狼の小便、音響のアニマルリペラーなど色々挑戦しましたがどれも効果なく、ネットに絡まって捕獲？したのが鹿8匹、その都度市に処理を頼んでいました。市も見かねて檻の設置を提案され平成27年に捕獲檻を設置、知恵比べがはじまりました

最初は糠を盛っとくだけで捕獲できましたが、複数で来た場合は連れが捕獲されるのを見ているので次は中々で知恵比べの開始です。

糠を地べたに盛っておくと水分を吸い上げてすぐに腐敗、それで容器に入れることに、洗面器、料理用のバット、穴の開いた平たい鍋、木箱など廃物利用、捕獲時に暴れてフミクチャにしるので。それでも雨がしかかるので檻の上に波板で雨よけをして糠の腐敗防止を、それでも雀や小鳥が食べていくので毎日点検補充、捕獲後の処理が済んだら小便と槍で突かれて血の匂いもすごいので、すぐに白元のトイレ用の無臭の消臭剤を噴霧し、血の上には土をかぶせて処理をせんと臭くてたまりません。臭気の苦情の出ないようにしています。

監視カメラも付けてケーブルと電源を100メートルほど引いてモニターで習性の監視、録画もしています。

おかげで7年間で鹿38、猪7の戦果です。

鹿は糠のほかに梅の葉っぱ、アジサイの葉っぱ等好物のようで檻の外から中への誘導に置いたりして誘導したりしています。

結局鹿や猪から畑や庭を守るためには物理的に遮断する。目視できなくする。捕獲する。

高圧静電気の柵をする、これも電線に草が触れたりしない様に保守が大変です。繊維のネットも噛み切ったり、絡まったり、下を潜り込んだりして侵入。

建設資材の土間にコンクリを打つときに入れる網？を張る、距離が長いとコストの点で、狭い範囲なら中を見えなくする点では建築現場の防炎遮音の膜が入手できれば、最近のは薄くて透けてますが、古いのは厚くて重いですが効果保守の面からも又腐らないので重宝しています。

エピソードは瓜坊を2匹つれた母猪を捕獲、朝見たら瓜坊が乳をのんでました。処理に来てくれたら瓜坊は檻の網目の間から逃走。よう生きていかんやろうと、そこでその日の夜から糠の餌をセット、まだ餌を取るすべを知らないのか檻の横から出入りして2匹が来るようになったので肥育して捕獲することに、横から出入り出来ないくらい大きくなったのでシャッターをセット見事2匹捕獲。